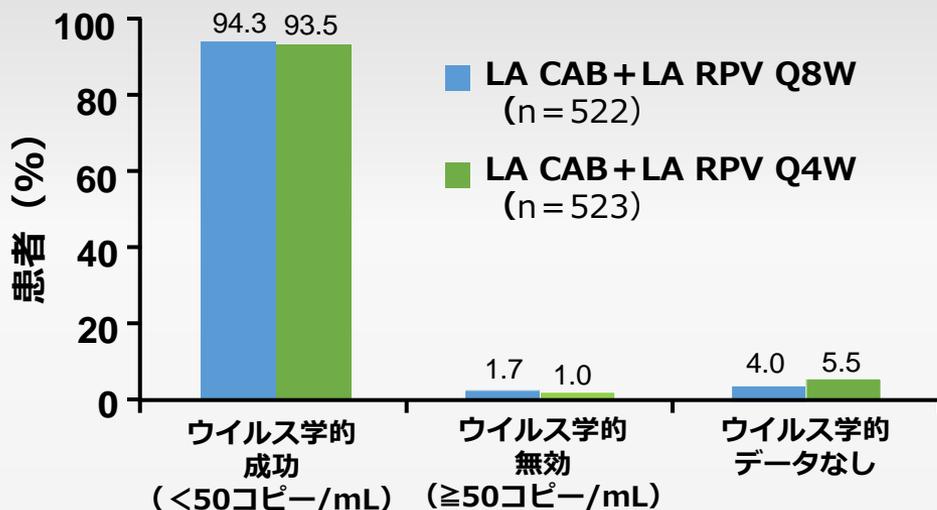


ATLAS-2M試験：CAB+RPV（IM）Q8WはQ4Wに対して非劣性

48週目の結果（ITT-E）



- Q8W群ではVFが8例で認められた。
 - 5例は既存の主要なRPV RAMを有し、1例は既存の主要なINSTI RAMを有し、5例はL74I遺伝子多型を有していた。
- CVFの全例において、ウイルスはDTGに対する感受性が残っていた。
- 両群におけるAEは同様
- CAB+RPV注射の23%にISRがみられた（Q8W群30% vs Q4W群20%）。
 - 98%がgrade 1/2であり、持続期間の中央値は3日であった。
 - 注射部位反応または注射に対する不耐性により<2%が試験を中止した。
- Q4W投与歴のあるQ8W群の患者の94%がQ8W投与の方を好んだ。

ウイルス学的失敗例における耐性	CAB LA+RPV LA Q8W (n=522)	CAB LA+RPV LA Q4W (n=523)
CVF例、n (%)	8 (1.5)	2 (0.4)
RPV RAM*を有するCVF例、n/N	6/8 K101E、E138E/K、E138A、Y188L	1/2 K101E、M230L
INSTI RAM*を有するCVF例、n/N	5/8 Q148R、N155H†	2/2 E138E/K、Q148R、N155N/H

*BL時の末梢血単核球を用いた事後のHIV-1 DNA検査。†または混合変異